

第88期 報 告 書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

証券コード 6246

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

CONTENTS

Top Message	1
事業の概況	3
事業紹介	5
業績の概況	8
株式の状況	9
会社概要	10

株式会社 **テクノスマート**

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第88期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当事業年度における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数に落ち着きが見られるとはいえ、新たな変異株の発生もあり油断できない状況が続いております。日本においても3回目のワクチン接種などの対策が進められておりますが、世界的な物流の停滞が発生し、半導体などを始めとする部材の調達に時間がかかるようになり、サプライチェーン全体に影響を与えております。経済活動の再開に向けての強い動きはあるものの、コロナ禍で疲弊した産業分野も数多く、以前の状況までの回復には時間がかかるものと思われまます。

このような状況下において、当社は大きな成長が見込まれる車載用リチウムイオン二次電池の電極用やセパレータ用、液晶テレビやスマートフォン、タブレット端末用の光学フィルム、タッチパネル用塗工乾燥装置及び電子部品関連塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は16,939百万円（前期比109.4%増）、営業利益は1,642百万円（前期比95.5%増）、

経常利益は1,692百万円（前期比85.2%増）、当期純利益は、1,164百万円（前期比100.8%増）となりました。

受注高は26,603百万円（前期比58.6%増）、受注残高は24,463百万円（前期比65.3%増）となりました。

海外案件については、海外への往来の制限が緩和されつつあり、一昨年設備投資を見送った反動から大型案件の引き合いが増えてきており、これまで低迷気味であった国内受注についても回復の動きが見られます。しかしながら国内外の設備メーカーとの価格競争は依然として厳しいものとなっており、且つ調達品の長納期化と原材料の価格上昇が鮮明となっております。このような中、光学フィルム関連設備と合わせて、今後の成長に期待のかかる二次電池、燃料電池などのエネルギー関連業界に対する更なる販売強化と、次世代5G向け先端材料や全固体電池などへの取組みも積極的に行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2022年6月

Changing Life with Coating Technology

「塗工技術で生活に変化を」

私たち『株式会社テクノスマート』は、「塗工」・「乾燥」で世界の人々に貢献できる企業を目指します。

代表取締役社長

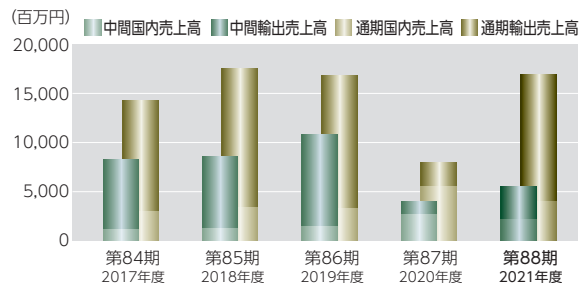
柳井 正巳



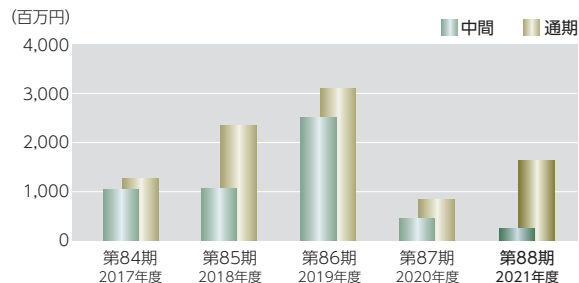
5年間の推移

設備メーカーとの価格競争は依然として厳しいものの、 売上受注とも回復傾向

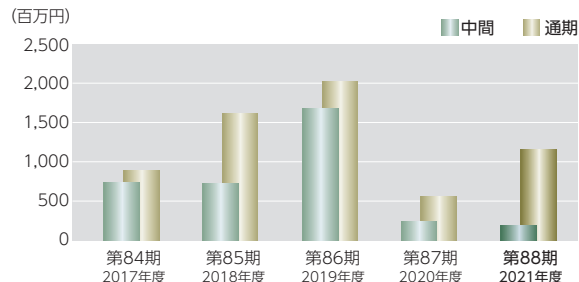
国内売上高・輸出売上高



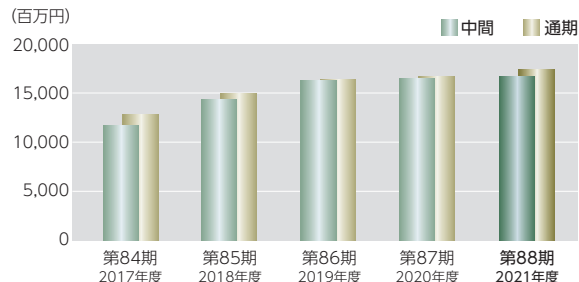
営業利益



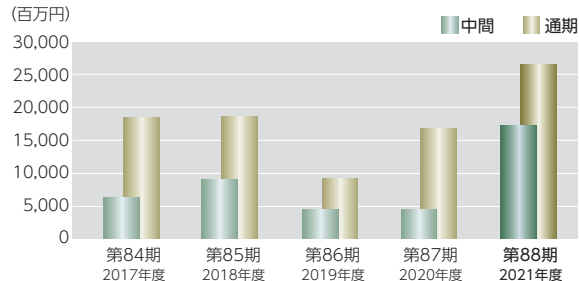
当期純利益



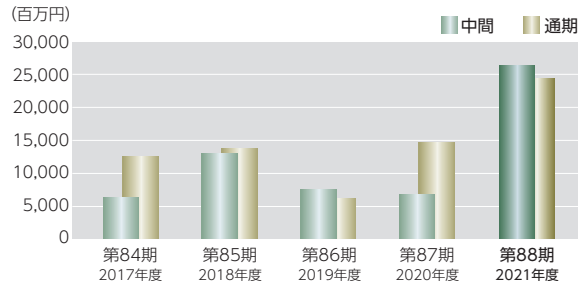
純資産額



受注高



受注残高



2023年3月期 業績予想

売上高 **19,000** 百万円

営業利益 **1,840** 百万円

当期純利益 **1,300** 百万円

これからも生産技術の ベストソリューションを 提案してまいります。

産業社会の発展に伴う多種多様なニーズに対し、営業、実験・開発、設計、製造グループといった総合的なサポート体制で臨み、着実に成長を遂げてまいりました。

〔 経 営 理 念 〕

誠実

真心をこめて一流の製品を作り、お客様の発展と地域への貢献ならびに我々社員の幸せの為に献身しよう。

行動

全社員の英知と総力を結集し世界的な会社の創造に邁進しよう。

転回

常に開拓者精神を培い、いかなる時勢の試練にも冷静かつ進取不屈の精神で事業永遠の繁栄に努力しよう。

経 営 理 念

環 境 理 念

独 自 理 念

〔 環 境 理 念 〕

地球環境の保全が将来にわたり重要な課題であることを認識し、企業活動のあらゆる側面において社員一人一人が、環境汚染の予防、環境保全に配慮しながら事業活動を推進する。

基本 方針

- 環境保全に関する意識向上を図る。
- 環境保全活動の目的・目標を定める。
- 環境関連法規法令及び当社に関連するその他の要求事項を遵守する。
- 環境マネジメントの維持向上を図る。
- 環境保全のために地域社会に貢献する。
- 環境理念と基本方針は全社員が周知徹底し、必要に応じて社外にも公表する。

〔 独 自 理 念 〕

理想的なコーティングラインのために

テクノスマートは独自の理念「C-5」を提案します。

当社は最高の品質をお客様にご提供するため、独自の理念「C-5」を掲げ製品開発に取り組んでいます。

これらの理念どれもモノづくりには欠かせないという認識のもと、すべての製品に対しテクノスマートの知恵と情熱が注がれているのです。

- ① クローズドタイプアプリケーションの採用
- ② クリーンルーム対応の設備
- ③ コンパクト設計
- ④ カセットチェンジコーターの採用
- ⑤ コンピューターシステムの導入

ディスプレイ部品関連機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
30.9%



エネルギー関連機器

二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器。

売上高比率
15.1%



機能性紙・フィルム関連塗工機器

一般産業資材用の紙・フィルム用塗工装置及び関連する乾燥熱処理装置。

売上高比率
39.5%



化工機器

高機能性繊維・不織布関連の製造装置及び乾燥・熱処理装置並びに関連する付属機器。ポリマー樹脂等化工品の乾燥・熱処理装置。各種エンブラフィルム用製膜関連製造装置。

売上高比率
0.1%



電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
9.8%



その他

各種関連機器の部品製造並びに改造・修理。

売上高比率
4.6%



「Techno Smart Series」のご紹介

塗工・乾燥装置を標準化することで製品開発から量産までの期間短縮ができるようになりました。

塗工乾燥装置の標準化「Techno Smart Series」

高精度コーター



高精度モーター、特殊カップリング高精度軸受の採用。

VCDコーター



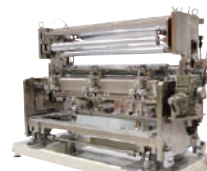
低速～高速まで幅広い塗工速度範囲に適応。

CEDコーター



高品位塗工に対応クローズドコーティングシステム。

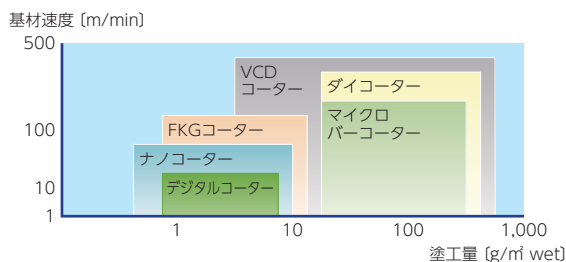
FKGコーター



版目の転写がない。ロール、ドクターブレード交換が容易。



カセットチェンジ方式で容易に塗工方式の変更が可能



ナノコーター



優れた薄膜塗工性能。スジムラがない。容易なロッド交換方式。

多層ダイコーター



多段化したスロットル構造により単層～多層の同時塗工を実現。

デジタルコーター



WET10 μ m以下の薄膜塗工。複雑な任意パターン塗工。

スマートラボ



研究、試作用途に対応した設置場所を選ばないコンパクト設計。

二次電池のご紹介

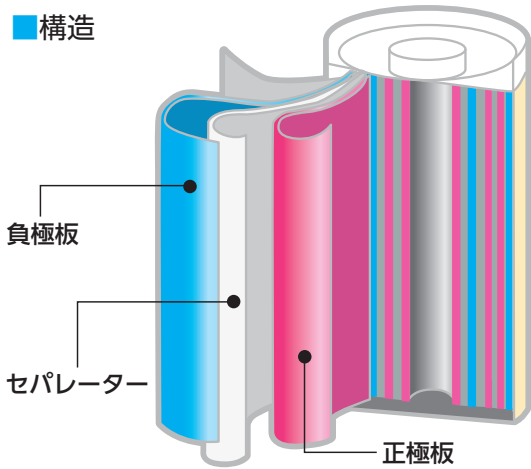
リチウムイオン二次電池の製造には、当社の装置が使用されています。

【用途例】

- ・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末
- ・ノートパソコン、デジタルカメラ
- ・電気自動車、ハイブリッドカー 等

二次電池は、充電式電池ともいい、電気を蓄えて繰り返し使用することができます。

■構造



リチウムイオンバッテリー



円筒型の二次電池を一例としてご紹介していますが、使用用途に応じて角形、ラミネート型の二次電池もあります。

■主な分類

	ニッケル水素電池	リチウム・イオン電池
自然放電	少ない	非常に少ない
エネルギー密度	高い	非常に高い
コスト	安い	高い
主な用途	ハイブリッドカー 電動工具	ハイブリッドカー 電気自動車 パソコン・携帯電話

二次電池

▼使用箇所

- 正極板
- 負極板
- セパレーター



タッチパネルのご紹介

ハードコートフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

カバーガラス

ITO層

IMフィルム

ITO層

IMフィルム

偏光板

カラーフィルター基板

配向膜

液晶層

配向膜

アレイ基板

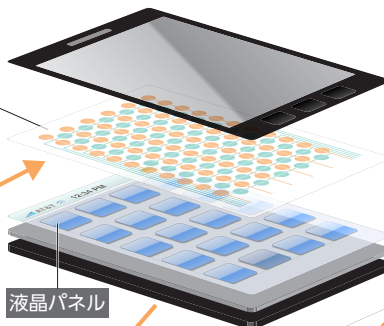
偏光板

指先が触れた時に電極の変化をX軸・Y軸の電極列から知ることによって位置を把握できます。

ITO層
(Y軸方向)

絶縁体

ITO層
(X軸方向)



液晶パネル

断面図

電気容量の
変化検知

絶縁体

タッチ位置の
検知イメージ

ITO層

電気を通す透明な薄膜。真空中で金属を高温加熱し、蒸着により、電気を通す膜をつくる。

ハードコートフィルム
(表面保護)

繰り返し使用しても傷が入りにくく、透明度が高く表面を保護している。

偏光板・ITO層ハードコートフィルム・IM（インデックスマッチング）フィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

- 偏光板（偏光フィルム）
特定の振動方向の光だけを通過させ、他の光を遮断させる。
- ITO層ハードコートフィルム
タッチパネル操作には欠かせないフィルムで、透明で電気を通す性能を持つフィルムです。
- IMフィルム
ITOパターンの視認性を低減する機能を持ち、タッチパネル画面を見やすくする機能があります。反射防止機能を持つものもあります。

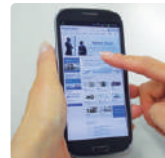
タブレット端末



▼使用箇所

- ハードコートフィルム
- 偏光フィルム
- 反射防止フィルム

スマートフォン



▼使用箇所

- ハードコートフィルム
- 偏光フィルム
- 反射防止フィルム
- フレキシブルプリント基板

業績の概況

■貸借対照表 (2022年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	23,204,518	流動負債	10,563,531
現金及び預金	10,638,638	買掛金	2,435,268
受取手形及び売掛金	464,376	電子記録債務	5,625,175
電子記録債権	1,111,655	未払法人税等	484,310
契約資産	9,502,111	前受金	1,597,385
棚卸資産	552,253	引当金	238,753
未収消費税等	549,677	その他	182,636
その他	392,637		
貸倒引当金	△ 6,831	固定負債	1,347,295
		退職給付引当金	857,599
固定資産	6,111,952	資産除去債務	6,412
有形固定資産	4,508,858	その他	483,283
建物	2,277,018	負債合計	11,910,826
機械及び装置	113,385	純資産の部	
土地	2,001,209	株主資本	15,879,819
その他	117,244	資本金	1,953,930
無形固定資産	11,512	資本剰余金	1,683,457
投資その他の資産	1,591,581	利益剰余金	12,383,696
投資有価証券	1,238,440	自己株式	△ 141,264
その他	353,140	評価・換算差額等	1,525,824
		その他有価証券評価差額金	423,997
		繰延ヘッジ損益	4,719
		土地再評価差額金	1,097,107
		純資産合計	17,405,644
資産合計	29,316,470	負債・純資産合計	29,316,470

■損益計算書 (2021年4月1日から2022年3月31日まで) (単位：千円)

科 目	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
	前 期		当 期	
売 上 高	8,089,061	100.0	16,939,242	100.0
売 上 原 価	6,663,504	82.4	14,472,721	85.4
売 上 総 利 益	1,425,556	17.6	2,466,521	14.6
販売費及び一般管理費	585,075	7.2	823,743	4.9
営 業 利 益	840,481	10.4	1,642,777	9.7
営 業 外 収 益	80,406	1.0	60,693	0.4
営 業 外 費 用	6,790	0.1	11,004	0.1
経 常 利 益	914,096	11.3	1,692,466	10.0
特 別 利 益	26,797	0.3	120	0.0
特 別 損 失	20,947	0.3	7,226	0.0
税引前当期純利益	919,947	11.4	1,685,360	9.9
法 人 税 等	340,075	4.2	521,139	3.1
当 期 純 利 益	579,872	7.2	1,164,220	6.9

■キャッシュ・フロー計算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

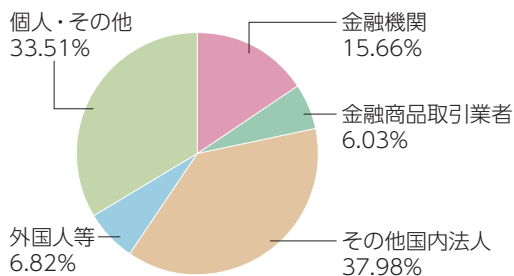
(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
	前 期	当 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,161,102	1,372,809
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 363,403	△ 759,395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 525,032	△ 439,262
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	3,303
現金及び現金同等物の増減額	4,272,673	177,454
現金及び現金同等物の期首残高	6,088,510	10,361,183
現金及び現金同等物の期末残高	10,361,183	10,538,638

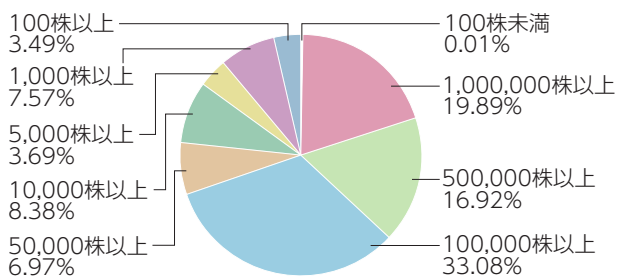
株式の状況 (2022年3月31日現在)

■発行可能株式総数	25,000,000株
■発行済株式の総数	12,401,720株
■株主数	2,752名

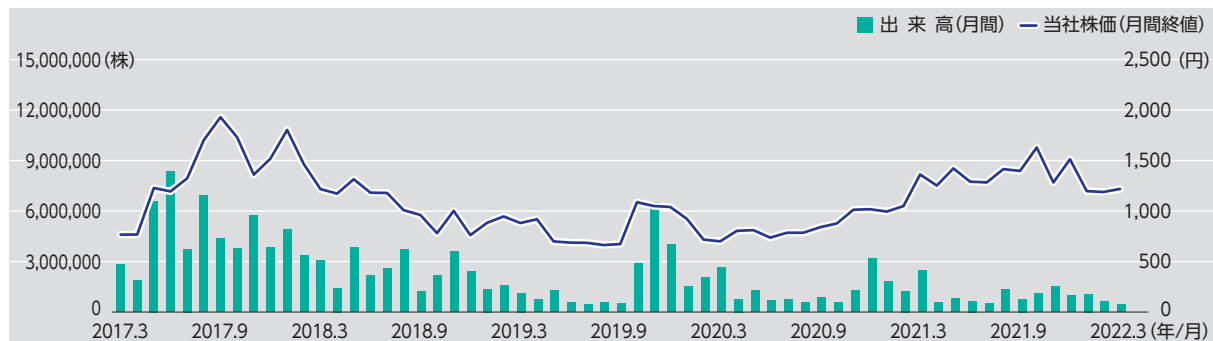
■所有者別株式分布



■所有数別株式分布



■当社株価と出来高



会社概要 (2022年3月31日現在)

社 名 株式会社テクノスマート
創 業 1912年6月15日
資 本 金 19億5,393万円
本 社 所 在 地 〒541-0056
大阪市中央区久太郎町二丁目5番28号
久太郎町恒和ビル2階
電 話 06-6253-7200 (代)
従 業 員 数 232名
上 場 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コー ド 6246
事 業 所 滋賀事業所 (滋賀県野洲市)
東京支店 (東京都中央区)



滋賀事業所



大阪本社



東京支店

役員 (2022年6月24日現在)

代表取締役社長 柳 井 正 巳
常 務 取 締 役 飯 田 陽 弘
取 締 役 下 村 壽 一
取 締 役 榎 本 一 郎
取 締 役 西 宮 良 材
取締役 (監査等委員) 青 木 透
取締役 (監査等委員) 岡 健 治
取締役 (監査等委員) 平 松 亜矢子

株主・投資家情報サイト

https://www.technosmart.co.jp/cat_ir/reporting/

■トップページ



click



当社ホームページではIR情報、製品情報など最新の情報がご覧いただけます。どうぞご利用ください。

トピックス

第12回 高機能フィルム展への出展

高機能フィルムの成形・加工技術からフィルムそのものに至るまで、様々なフィルムの加工機械・材料の総合展である「第12回 高機能フィルム展」が2021年12月8日 (水) から10日 (金) までの3日間、幕張メッセで開催されました。当社は2年ぶりに出展し、パネル展示を中心に塗工乾燥装置と関連装置のPRを行いました。コロナ禍の影響で出展を控えていましたが、新型コロナウイルス等の状況を鑑みながら、このような展示会へはできる限り積極的に出展し、商機獲得へと発展させていきたいと考えています。



■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
*その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により行う
公告掲載アドレス：<https://www.technosmart.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
[郵便物送付先/各種お問合せ先] 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
[受付時間 9：00～17：00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)]
ホームページ <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。